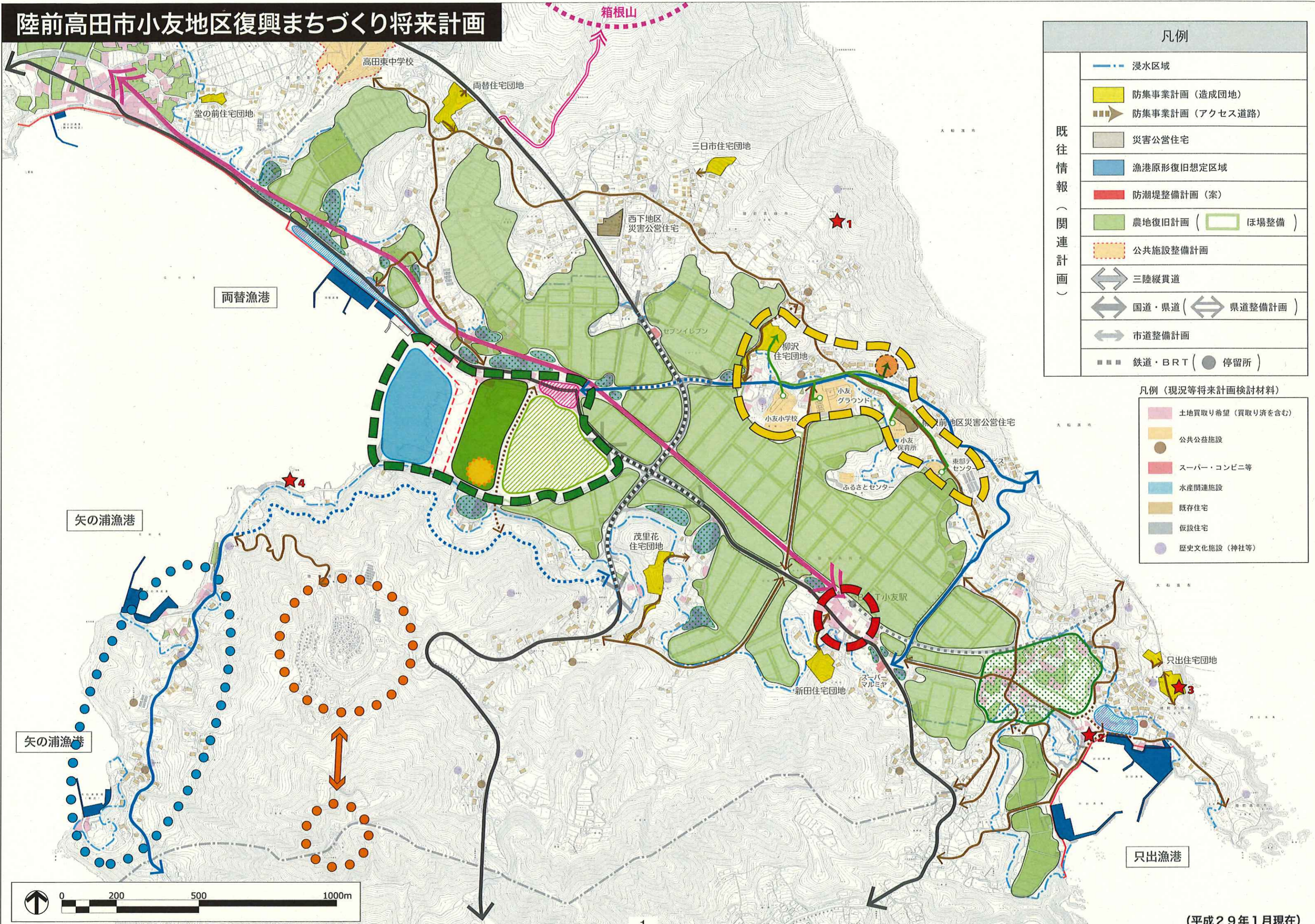


# 陸前高田市小友地区復興まちづくり将来計画







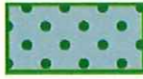




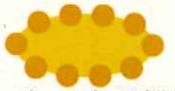
凡例	
既往情報 (関連計画)	浸水区域
	防集事業計画 (造成団地)
	防集事業計画 (アクセス道路)
	災害公営住宅
	漁港原形復旧想定区域
	防潮堤整備計画 (案)
	農地復旧計画 (ほ場整備)
	公共施設整備計画
	三陸縦貫道
	国道・県道 (県道整備計画)
市道整備計画	
鉄道・BRT (停留所)	

凡例 (現況等将来計画検討材料)	
土地買取り希望 (買取り済を含む)	
公共公益施設	
スーパー・コンビニ等	
水産関連施設	
既存住宅	
仮設住宅	
歴史文化施設 (神社等)	




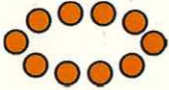
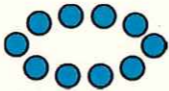
# 小友地区復興まちづくり将来計画

## 【小友地区全体の再生・復興】

### 1. 産業の再生・復興

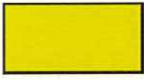


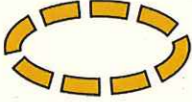





分野	取り組み項目等	内容	備考
漁業の再生・復興	漁港整備 	原形復旧と新たに只出漁港の船揚場、臨港道路を整備	両替漁港、矢の浦漁港、只出漁港
	水産関係用地の整備 	漁業活動に必要な漁具置場、共同倉庫用地	両替漁港後背地、只出漁港後背地
農業の再生・復興	稲作農業振興ゾーン 	農地の復旧及び振興	
	新しい農業振興の取り組み	農業活性化拠点の形成  ①研究・研修機能の確保 ・拠点施設の整備（研究・研修・交流機能を持つ拠点施設） ・新規就農者支援のための研修農地 ・新規作物開発等を行う実験農地 ②直売所機能の開設 ・収穫祭等のイベント的な直売 ・四季の生産に即した常設的な直売	谷地地区 サンファーム小友が主体となった活動
	新規特産品（主に椿）展開ゾーン 	6次産業化につながる農産品の育成 ・椿の花及び椿油等の活用、柚子等の検討 ・農業活性化拠点と連携した生産・管理	J R 大船渡線及び主要地方道大船渡広田陸前高田線沿いの景観向上
高田松原津波復興祈念公園と連携し、J R 大船渡線を軸とした観光交流軸（東西軸）の確立	J R 大船渡線及び主要地方道大船渡広田陸前高田線に沿った東西方向の動線の確保 	①J R 大船渡線の線路敷き及び県道を活用した広域的な観光動線の確保 ・内容に関してはJ R との協議を踏まえて今後検討 ・みちのく潮風トレイルルートとしての整備（基石海岸から広田半島を經由し、高田松原へつなぐ散策ロードの整備） ・広田半島レクリエーションとの連携（小友駅を広田半島一周サイクリングの起点とする） ②観光交流軸としてのシンボリックな景観形成 ・新規特産品展開ゾーンをつなぐ椿並木の整備等	高田松原津波復興祈念公園→米崎地区→小友地区さらに小友駅から広田地区への広域的な観光の連携
	干拓地周辺を活用した集客拠点の形成・創出 	干潟の再生 潮干狩り場の復活、砂浜の再生	農地海岸堤防の海側
	干拓地を活用した緑地空間の創出   緑地空間  スポーツ施設機能	①堤防後背地に広がる緑地公園の整備（堤防の高さを緩和） ・観光客の憩いの場やイベント広場としても活用 ・傾斜を利用したアスレチックレクリエーション利用 ②緑地公園内にスポーツ施設機能を創出 ・小友グラウンドではできないスポーツに利用（グランドゴルフ等） ・主に地区の住民が利用	農地海岸堤防の後背地

平成29年1月現在

分野	取り組み項目等		内容	備考
高田松原津波復興祈念公園と連携し、JR大船渡線を軸とした観光交流軸(東西軸)の確立	干拓地周辺を活用した集客拠点の形成・創出 	干拓地を活用した生産農地の形成 	①生産農地の形成及び花の見晴らしを活かした観光スポットの創出 ・ 椿、菜の花、そば、エゴマ、ゆず等の農地 ・ 地域植生を活かしたフラワーガーデン ・ 観光バスを含む駐車場の確保 ②農業活性化拠点と連携した新規作物開発	干拓地 地元・サンファーム小友が主体となった活動
		干拓地と連携した観光商業ゾーンの形成 	観光商業を中心とした観光客向け商業の集積 ・ 直売所、シーフードレストラン、農家カフェ、かき小屋、カフェ、ギャラリー等 ・ 初期段階は、仮設的な産直イベント等を開催(軽トラ市等)	干拓地北側の県道沿い
	アウトドア観光レクリエーション拠点の整備 	①モビリアと仁田山一帯におけるアウトドアアクティブゾーンの形成 ・ キャンプ場、バーベキューゾーン、トレイルランニング、トレイルサイクル、アスレチック、星空ウォッチング等 ②モビリアの宿泊機能の充実(周辺観光資源と連携した滞在機能)	モビリア、仁田山 通年利用プログラムの検討	
	良好な環境を活用した集落単位での観光交流機能の充実 	①海と山を活用した観光資源の整備とプログラムの充実 ・ 海浜環境の整備(海水浴場の復活等)、遊漁船 ②観光客の受け入れ機能の充実 ・ 空き家を活用した集落共同経営の民宿・レストラン(地域のお母さん達による活動等)	矢の浦地区、瀬沢地区 干拓地及びモビリア等との連携	
箱根山の活用	箱根山周辺の観光拠点機能の充実		①観光機能の充実 ・ 既存施設の充実(伝承館、飲食店、お土産屋、展望台等) ・ 民間観光施設の誘導 ②アクセス路の強化・改善	

平成29年1月現在

2. 暮らしの再生・復興

分野	取り組み項目等	内容	備考
住宅機能の確保	防災集団移転住宅団地の整備 	6 団地	両替住宅団地、三日市住宅団地、柳沢住宅団地、茂里花住宅団地、新田住宅団地、只出住宅団地
	災害公営住宅の整備 	2 団地	西下団地、柳沢前団地
BRT小友駅周辺の充実	駅前ターミナル機能の充実 	①交通ターミナル機能の整備・誘致 ・駅前広場、駐車場、駐輪場、待合所、レンタサイクル、観光物産施設、観光情報案内等 ②生活支援機能の整備・誘致 ・生活商業・飲食等	BRT小友駅前
小友地区の 地域拠点の形成 	コミュニティ拠点の形成 	①コミュニティセンターの高台移転 ・新設コミュニティセンターの避難拠点としての機能の充実 ②各施設の有機的な連携によるコミュニティ拠点機能の充実 ・小友小学校、小友保育所、小友グラウンド、東部デイサービスセンターと新設コミュニティセンターとの連携による住民活動の活性化	
	各施設からの 避難経路の整備・充実 	小友小学校、小友保育所、小友グラウンド、東部デイサービスセンターから新設コミュニティセンター（避難拠点）及び住宅団地への避難経路の確保	
安全で観光客にも便利な 道路体系の確立	広域交通や観光活動を支える骨格道路網の確立 	アップルロードの浸水低地区間のかさ上げ整備 既存道路の機能強化（拡幅・歩道整備等）	広田半島の孤立化を防止
	各集落と骨格道路網を結ぶアクセス道路の整備・強化 	既存道路の機能強化（拡幅・歩道整備等） 新規整備も検討	
	集落内の主要道路の強化（避難動線を含む） 	既存道路の機能強化（拡幅・歩道整備等） 新規整備も検討	
暮らしを支える 公共交通の充実	バス等の公共交通の利便性向上	BRTの増便の検討 福祉バス・タクシーの検討	

平成29年1月現在

【集落毎の再生・復興】

対象地域	分野	取り組み項目等	内容	備考
全集落共通	集落環境の整備・改善	集落環境の整備	山側景観及び住環境の保全 生活道路の改善 排水対策（特に新規住宅立地に対応した排水環境改善）	
	集落コミュニティの再構築	自治会組織の再構築 集落イベント、祭りの再生・復興	新規居住者の受け入れ 自治会活動の活性化、各種まちづくり活動の検討 公民館施設・設備の充実	
	防災性向上の取り組み	避難経路・避難場所の整備・充実 防災情報提供機能の強化 防災意識の向上 等	位置づけの明確化、各避難機能の拡充・整備 防災情報の提供の仕組みの検討（携帯電話の活用を含む） 災害訓練等の継続	地域防災計画との整合
松山地区（3区甲）		山の災害対策の強化	大雨時の山からの土砂崩れや鉄砲水等への対策の充実	
柳沢・上の坊地区（4区）		消防屯所の整備 常膳寺下のため池の改修（★1）	柳沢地区内での消防屯所の確保 防火用水機能を兼ねた農業用水の改修	
只出地区（6区）		低地に住民憩いの公園を整備（★2） 低地に地区内共同駐車場の確保 只出公民館の再建（★3）	緑地公園及びイベントスペースの確保 地区行事等での利用 只出防集団地内での公民館再建（建物整備）	
中里・沢辺・森崎 塩谷・小屋敷・モビリア地区		弁天様の復活・再建（★4）		地元での自主活動主体



★：各集落の取り組みの中でも、位置が特定できるもの

平成29年1月現在

## 小友地区（復興まちづくり将来計画）

### ＜今後、当面の重点的な地域での取り組み＞（地域住民が主体となって自主的に取り組むべき方向性の提案）

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>1. 干拓地再生プロジェクト</p>	<p>■干拓地を活用した観光振興による集客拠点の形成</p> <p>①小友地区の観光振興のあり方と干拓地の位置づけや役割の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の洗い出しとその価値・魅力の確認</li> <li>・観光資源を活かした将来像づくり</li> <li>・人を呼びこむ仕掛けづくり</li> <li>・干拓地の位置づけ・役割と周辺施設・地区との連携のあり方の検討</li> </ul> <p>②干拓地の拠点施設のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点に求められる役割・機能の整理（干潟、緑地空間、イベント広場、スポーツ施設、観光商業ゾーン、生産農地など）</li> <li>・各施設の整備・空間イメージの検討</li> <li>・実現のための手法や役割分担の検討</li> </ul> <p>③干拓地再生へ向けた活動プログラムの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各主体それぞれの役割と活動可能性の検討</li> <li>・仮設的で不定期なイベント的な取り組みからの活動プログラムの検討</li> <li>・当面の活動主体の組織づくり</li> </ul>	<p>・干拓地を活用した観光振興や地域の活性化を考える検討体制の立ち上げ</p> <div data-bbox="1537 535 1964 871" data-label="Diagram"> </div> <p><u>産業・商業関係者メンバー（案）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業関係者</li> <li>・農業関係者・各種生産組合関係者</li> <li>・サンファーム小友</li> <li>・観光関連各種施設関係者</li> <li>・商業営業者</li> </ul> <p><u>権利関係者メンバー（案）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者（民間・公共）</li> </ul> <p><u>地域関係者メンバー（案）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ協議会</li> <li>・各種まちづくり活動団体</li> <li>・地元有志</li> </ul> <p>（必要に応じて各部門の専門家を招へい）</p>	<p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 地域資源やその魅力を再発見・再認識する</p> <p>3. 小友地区の観光ビジョンと干拓地の拠点施設を核とした観光振興の将来像の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者それぞれの意向や各種団体の意向を整理・把握</li> <li>・拠点に求められる役割・機能の明確化</li> <li>・人を呼びこむ仕掛けの検討</li> </ul> <p>4. 干拓地将来ビジョンの作成（拠点施設整備構想）</p> <p>5. 干拓地再生へ向けた活動プログラムの策定とその継続的な実施</p>

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>2. 矢の浦グリーンツーリズムプロジェクト</p>	<p>■矢の浦の良好な環境を活用した観光交流事業（グリーンツーリズム）の推進による地域活性化</p> <p>①矢の浦のグリーンツーリズムのあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢の浦の魅力の確認</li> <li>・ツーリズムメニュー・プログラムの検討</li> <li>・グリーンツーリズムに向けた仕組みづくり</li> </ul> <p>②海と山を活用した観光資源整備のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜環境の整備（海水浴場の復活など）</li> <li>・遊漁船の拡充（釣り、クルージングなど）</li> <li>・モビリアとの連携のための環境整備（道路等）</li> </ul> <p>③観光客の受け入れ機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお母さんたちによる地場産品レストランづくりの検討</li> <li>・空き家を活用した集落共同経営の民宿づくりの検討</li> <li>・ツアー受け入れ体制の検討</li> </ul>	<p>・矢の浦の良好な環境を活用した観光交流事業（グリーンツーリズム）を考える検討体制の立ち上げ</p>  <p>地域関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ協議会</li> <li>・各種まちづくり活動団体</li> <li>・漁業者・営農者・商業関係者</li> <li>・地元有志</li> </ul> <p>支援メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内グリーンツーリズム推進組織</li> <li>・行政関連部局</li> </ul>	<p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 矢の浦の地域資源やその魅力を再発見・再認識する</p> <p>3. 矢の浦における観光交流事業の将来イメージの検討（各種研修・視察等を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流のツアーメニューイメージづくり</li> <li>・地域での受け入れと役割イメージの検討</li> <li>・必要な施設や体制のイメージの検討</li> </ul> <p>4. 観光交流事業実施に向けた活動プログラムの検討・実践</p>
<p>3. 農業振興プロジェクト</p>	<p>■小友地区農業の新規展開への試行と将来展望の明確化</p> <p>①農業振興のあり方、将来像の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作農業振興ゾーンの今後の展望</li> <li>・農業活性化拠点のあり方</li> <li>・サンファーム小友を含む体制のあり方</li> </ul> <p>②新しい農業振興の取り組み方針の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化につながる農産品の育成（椿の花、柚子など）</li> <li>・直売所機能のあり方の検討（干拓地ゾーンとの役割分担や仮設的展開の試行の検討）</li> </ul> <p>③農業活性化拠点における研究・研修機能のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究・研修・交流機能を持つ拠点施設の活動イメージの検討</li> <li>・新規就農者を受け入れる仕組みづくり</li> <li>・新規就農者支援のための研修農地の検討</li> <li>・新規作物開発等を行う実験農地の検討</li> <li>・荒廃農地を活用した取り組みの試行</li> </ul>	<p>・小友地区の農業振興と新しい取り組みの推進を考える検討体制の立ち上げ</p>  <p>農業関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業関係者・各種生産組合関係者</li> <li>・サンファーム小友</li> <li>・観光関連各種施設関係者</li> </ul> <p>権利関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業活性化拠点ゾーンの地権者（民間・公共）</li> </ul> <p>地域関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ協議会</li> <li>・各種まちづくり活動団体</li> <li>・地元有志</li> </ul> <p>（必要に応じて各部門の専門家を招へい）</p>	<p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 農業の現状把握と農業振興のあり方、将来像・目標の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者それぞれの意向や各種団体の意向を整理・把握</li> <li>・農業活性化拠点、拠点施設のあり方の検討</li> </ul> <p>3. 各種試行の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい農業振興の取り組み（新規農産品、産直施設など）</li> <li>・拠点施設における研修農地・実験農地の試行</li> <li>・荒廃農地活用の試行</li> </ul> <p>4. 継続的な検討組織づくり</p>